学校番号	201

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選　現代文Ｂ　（東京書籍）						
副教材等	現代文読解ＷＯＲＫＳレッスン１（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代文は文章を読んで「考えを深める」ことがもっとも大切な科目です。授業中は板書をただ写すだけでなく、しっかりと文章の内容を自分なりに考えて授業に臨んでください。また、わからない漢字、語句などは教員の指示がなくても自分で調べておくようにしてください。近代以降の様々な文章を読み、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

１．近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
２．近代以降の様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
３．進んで表現し読書することによって国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・授業時の反応 ・発問 ・プリント	・授業時の活動 ・発問	・ノートへの記入	・定期考査 ・発問	・定期考査 ・小テスト ・プリント ・指名読み ・発問
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	一部　評論一	清岡卓行 「ミロのヴィーナス」	○			◎	○	a: 論点を整理しながら，自分の考えを表現しようとしている。 d: 題材や材料，文の組立てに注意しながら，読み取っている。 e: 語句の意味や用法の微妙な違いについて，理解を深めている。	a:行動の観察 d:記述の確認 e:記述の分析
	一部　小説一	中島敦 「山月記」	○		○	◎	○	a:文章の特色に注目することで内容の深い理解を目指そうとしている。 d:人物の心情の推移を把握しながら文章を読み取っている。 ｃ:文体や語りの視点に注意して，作品世界の状況を把握し，人物の考え方とその変化を理解している。 e:漢語的な表現や語句の意味についての理解を深めている。	a:行動の観察 d:記述の分析 c:ノートへの記入 e:記述の分析

二学期	一部　小説二	夏目漱石 「こころ」	○			◎	○	a:表現に即して，人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。 d:情景や会話の描写から，人物の様子について考察しながら読んでいる。 e:作者の思想や作品について，理解を深めている。	a:行動の観察 d:発言や記述の分析 e:発言や記述の分析
	一部　評論二	多木浩二 「消費されるスポーツ」	○			◎	○	a:語句や表現に注意して文脈を捉え，筆者の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取ろうとしている。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え，筆者の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取っている。 e:読むことに必要な文章の組立て，語句の意味，語句の用法，表記の仕方について理解している。	a:行動の観察 d:記述の分析 e:記述の点検
	一部　詩歌一	宮沢賢治 「永訣の朝」	○	◎			○	a:繰り返し音読することで詩の韻律に慣れようとしている。 d:描かれている状況を根拠に基づいて話し合う。 e:詩の表現形式や修辞について，理解している。	a:行動の観察 b:行動の観察 e:記述の確認

三学期	一部　評論三	高階秀爾 「日本人の美意識」	○			◎	○	a:語句や表現に注意して文脈を捉え，筆者の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取ろうとしている。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え，筆者の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取っている。 e:読むことに必要な文章の組立て，語句の意味，語句の用法，表記の仕方について理解している。	a:行動の観察 d:記述の分析 e:記述の点検
	一部　小説三	横光利一 「蠅」	○			◎	○	a:表現に即して，人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。 d:情景や会話の描写から，人物の様子について考察しながら読んでいる。 e:作者の思想や作品について，理解を深めている。	a:行動の観察 d:発言や記述の分析 e:発言や記述の分析

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く　c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。